

## 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

## 以下、事業実施評価との共通部分

## 1 全事業共通

## (1) 地域の現状と課題について

- ・希望が丘南地区と、希望が丘地区から成り立つ地域です。両地区とも地域の方々は積極的に地域活動に取り組み、課題について自ら解決しようとする姿勢が根付いている地域です。
- ・世代間同居や近距離に家族が居住している世帯も多く、子育て、介護等については家族間での協力体制が比較的多くあります。また、近隣の住民間での共助もなされており、顔の見える関係づくりを積極的に行っておられます。
- ・両地区共通の課題として、介護予防やボランティア活動の担い手の不足があげられます。
- ・また、住み慣れた地域で障害がある家族が地域社会に溶け込んで生活できることを希望しているという声もあります。
- ・地域ケアプラザが福祉活動の拠点となり、また総合相談窓口として広く地域住民に認知されるよう活動をしていきます。

(29年度事業計画書より)

## (2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・地域の身近な総合相談窓口として、高齢・子ども・障害問わずあらゆる方からの相談を広く受けました。また業務や地域住民とのつながりの中で把握した情報を、必要に応じて区役所や関係機関に繋ぎ適切な支援を行いました。  
(今年度子どもに関する相談 3 件、障害児者に関する相談 155 件、その他 3 件)
- ・ケアプラザで受けたこどもの相談については、区役所地区担当の保健師やケースワーカーと情報共有を行い、適切に繋ぎました。障害の相談については、区の障害者支援担当のケースワーカー、旭区基幹相談支援センター、旭区地域生活支援拠点と連携し、必要に応じて個別支援会議に出席し、関係機関と連携し継続的な支援を行いました。
- ・地域の会議や関係機関の会議、自主事業において、ケアプラザが身近な子育て・障害分野の相談窓口であることを広く周知を行いました。
- ・相談の内容に応じて、福祉サービスやインフォーマルサービスの情報提供を行い繋ぎました。
- ・相談から抽出した課題に対して、課題解決につながるよう事業の実施を行いました。精神障害の相談件数が多いことから、区主催の精神保健福祉講座を開催し、地域交流のサブコーディネーターも含めた職員の研修の場として実施しました。また、地域住民向けに「きぼうファーム」の啓発事業の一環として、「当事者講演会」のテーマを今年度は精神障害として、3月に事業を実施しました。2月に予定していた「障害理解講座」は雪の為延期になりました。

また、民生委員から障害者に関する相談も多いことから、両地区の民生委員を対象に横

浜市後見的支援制度説明会を旭区後見的支援室絆との共催で開催し、制度の理解と相談窓口の紹介を行いました。

福祉サービスを利用していない障害のある方の居場所の課題を解決するため、「きぼうファーム」の対象者を障害児から障害児者へ広げ、障害種別や年齢を限定せずに参加できるように、地域へ働きかけました。

・職種、部門を限定しない幅広い「総合相談・支援」を実施し、地域活動交流と地域包括支援センターが連携し、情報共有を行いました。

・障害分野の相談については、あらゆる方の相談をまずは受け止められるよう、制度や様々な障害特性の理解のため積極的に研修に参加しました。

(若者相談支援スキルアップ研修 11 件、障害児者関係研修 16 件、子ども関係研修 3 件)  
また、旭区自立支援協議会の相談連絡会に月 1 回参加し、相談支援のスキルアップに努めました。

### (3) 各事業の連携

・5 職種会議にて、現在取り組んでいる内容や、今後の計画についてなどの共有をはかりました。課題の抽出に対しては他職種からの視点で捉えた内容についても担当者がまとめ、エリアの課題を正確に抽出するようにしました。

・地域に発信する前には、その内容と理由を職員間で共有した後に発信するというステップを踏むことで、ケアプラザで共有された内容として地域に出すことができました。

### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

・横浜市の配置基準を満たす適正な人員配置をいたしました。年間を通じ欠員はありませんでした。

・29 年度計画していた内部研修は、個人情報保護、コンプライアンスのテーマを含む全 8 回開催し全職員対象に実施しました。

・外部研修は延べ 38 回参加し、その内容を職員間で共有しました。

### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

・地域の各種団体の定期会合や行事に積極的に向き、地域の状況把握に努めました。また身近な相談機関として、各種団体の地域福祉活動に対し積極的に関わり、支援を行いました。

・支えあい連絡会では、地域住民と行政と連携し協働で、第 3 期地域福祉保健計画の地区別計画の推進が図れるよう支援を行いました。

・希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会共催事業「きぼうファーム」を通じて、両地区間のさらなるネットワークの構築と、当事者・家族と自治会や各種団体、地域住民との顔の見える関係づくりに努めました。今年度から両地区の代表者からなる代表者会議の他、事業の企画運営をより地域主体になるよう、新たに運営に携わるボランティアを募集し、企画会議を行い、障害児者余暇支援事業を年 5 回、保護者交流会を 1 回開催しました。障害理解啓発を目的とした「当事者講演会」を 3 月に開催しました。2 月に予定していた「障害理解講座」は雪の為延期になりました。

また今年度は新たな取り組みとしてケアプラザのエリアにある 3 つの地域防災拠点の方を対象に、「障害理解講座」を開催し、地域防災拠点の障害児者受け入れの取り組みの参考になるよう事業を実施する支援を行いました。

また、両地区のスポーツ推進委員の方に協力をしていただき、スポーツ大会を 1 月に開催しました。きぼうファームを通じて、事業に参加する団体を増やし、障害児者を地域で支えるネットワークが広がるよう継続して支援を行いました。

・旭区自立支援協議会のメンバーとして、障害分野でのさらなるネットワークの構築

に努めました。各団体や事業所との情報交換を積極的にかつ継続的に行い、顔の見える関係づくりと課題の共有を行い、地域での課題解決に向けたネットワークの強化に努めました。相談連絡会やこども連絡会では、区内の障害相談支援を行っている事業所や放課後等デイサービスと事例検討会を通じて、ケアプラザとの連携や、地域にある資源や民生委員や自治会との連携について情報提供等を行いました。

あっぱれフェスタでは、一般の地域住民への啓発を目的として、ケアプラザで活動をしている団体と区内事業所に通所されている方とのコラボダンスを企画し、チアダンスの子どもたちと障害のある方との交流の場づくりを行いました。

・希望が丘地区にある2つの障害事業所と地域の代表者が参加するつながろうプロジェクト南希ケアプラザエリア地域連絡会を年3回開催し、災害時や地域生活での課題共有や意見交換をする場を設け、地域の障害事業所と地域とのネットワークの強化に努めました。今年度も地域の防災訓練に参加したり、商店会のお祭りに出店する等、地域と障害事業所の繋がりが持てました。

・ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業において、ひとり暮らし高齢者の情報を民生委員、区役所と共有し、支援を必要とする人を効果的に把握し、相談支援や地域における見守り活動へ連携していけるよう努めました。

・認知症になっても安心して暮らせるまちをめざし、地域の皆さんと立ち上げた「きぼうタウンプロジェクト」を通じ、ケアプラザエリア内の3連合の地域住民の方、民生委員、保健活動推進員、介護事業所、ボランティア団体、医療関係者などにも新たに呼びかけ、地域での認知症に関する課題解決にむけ取り組んだことで、各地域間のネットワークづくりの構築を図りました。最初の取組として9月より『認知症カフェ』を2か所立ち上げ、地域にお住いの医療関係者、ケアプラザ協力医、新しいボランティア団体等とも連携しながら、積極的に支援しています。

・30年2月より開催している「みんなの集いの場」では誰もが集い、目的を参加者が自由に気軽に選べる集いの場として、中希望が丘にある教会の幼児園の広い集会所をお借りして、運動とお茶のみを同時にできるよう、ボランティアの「ステップ1・2希望の風」（運動の担い手）、善部西絆カフェのコーヒーボランティア（お茶のみの担い手）、近隣自治会の人（広報活動）、教会（場所の提供）、介護事業所（移動手段の手伝い）などのメンバーで協議体を開催し、集いの場をみんなで作りあげていけるよう、地域で活躍する多様な主体間のネットワークの構築を図りました。

## (6) 区行政との協働

・子どもに関わる様々な事業で区行政と連携を図りました。子育てサロン mam-mam では区役所地区担当の保健師と発達相談や育児相談等で連携し協働して子育て支援に努めました。Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～では、資源循環局旭事務所と共催でエコ草履教室を開催し夏休みの余暇支援と宿題支援を行いました。

・支えあい連絡会では、地区支援チームのメンバーとして区や区社協と連携し、ケアプラザで把握している地域課題や地区での取り組みについて積極的に情報提供を行い、第3期地域福祉保健計画の地区別計画推進に向けて協働して取り組みました。

きぼうファームでは、地域で実施する上での課題等を共有し支援チームで連携して、後方支援を行いました。

・障害者支援において、担当のケースワーカーと情報共有を行い、協働して個別支援を行いました。また、区主催の「精神保健福祉講座」では、チラシの作成を行い、区内のケアプラザや居宅介護事業所、障害事業所にも広く周知を行い、後方支援を行いました。

・運営方針の遂行、包括的継続的ケアマネジメント支援、地域アセスメントに基づく地域支援を区行政と協働して行いました。

・昨年度、区とケアプラザで連携して作成した「元気づくりマップ」について、今年度も引き続き区と協働して更新作業を行いました。

・3月に区で行われた地域福祉保健計画の推進、普及啓発を目的とした「認知症のある人と地域で共に暮らすことについて考える」をテーマとした講演会に、今年度エリア内でたちあがった2か所の認知症カフェが旭区の取組としての発表を行う際、区と連携して後方支援を行いました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・昨年度から開催している Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～を今年度も開催し、引き続き地域の子どもの居場所支援・学習支援・孤食支援を行いました。また、今年度より長期休暇時の日中にも開催し、夏休みは7月と8月に、冬休みは12月に9時から17時までの1日を通じて、地域の子どもたちの居場所支援、食事の支援、宿題の支援を行いました。Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～の取り組みを多くの地域の大人に知ってもらえるよう、登録団体の福祉保健活動の場として提供し、ボランティアとして多くの地域の方に関わっていただきました。
- ・主に乳幼児を対象にした子育てサロン mam-mam、年齢を問わず子どもを対象にしている Dandy kitchen～ふれあい子ども食堂～を通じて、子育て世代への支援を行い、また事業を通じてケアプラザの機能の周知に努めました。
- ・自主企画事業を通じて、地域の定年退職後の男性の仲間づくりや地域活動の参加のきっかけになるよう、地域の男性を対象にした「ダンディパティシエ」を継続して実施し、事業の活動の一環として、Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～でデザート作りやおやつ作りを行いました。
- ・昨年度より地域で立ち上がった障害児者支援事業「きぼうファーム」の事業の内容の充実と、住民主体の活動となるよう、後方支援を行いました。地域課題の解決になるよう情報提供を行い、付き添いボランティアのコーディネートや参加者のアセスメント、障害理解講座の講師や当事者講演会のコーディネート等の支援を行いました。
- ・すべての自主企画事業において、障害児者の参加を積極的に受け入れ、地域のあらゆる人が参加できるように事業を実施しました。Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂に個別支援級に通うお子さんが参加されたり、ふらっとサロンに精神障害の方が参加されました。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・登録団体説明会や年末大掃除会の中で、ケアプラザ利用に対する率直なご意見を伺う時間を設け、福祉保健活動団体等からいただいたご意見やご要望については、所内会議で検討し、よりご利用しやすい環境整備と適切な管理に努めました。
- ・緊急時の避難経路や館内の消火器の設置場所についての説明を登録団体説明会と年末大掃除会の後の交流会で行い、緊急時の対応について周知を行いました。
- ・館内と外の掲示板にて、2か月分の貸室予約状況をカレンダー形式で掲示をし、貸室の予約状況についての情報提供を行いました。
- ・登録団体が福祉保健活動に積極的に参加できるよう、情報提供や活動の場のコーディネートを行いました。Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～やケアプラザ祭り等の自主事業でのボランティア活動へ結びました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ケアプラザの事業からボランティア活動に繋がるような仕組みを作り、ボランティアの育成に努めました。ダンディキッチン、ダンディパティシエの参加メンバーが Dandy Kitchen～ふれあい子ども食堂～でボランティア活動を行いました。
- ・ケアプラザ新聞を通じて、ボランティア活動の情報提供を行い、きぼうファームや子育てサロン mam-mam、園芸ボランティアの活動に結びました。
- ・登録団体や地域の団体に対して、ケアプラザの自主事業やデイサービス慰問などでのボランティア活動の場の提供を行い、ボランティア育成に努めました。今年度は13団体がケアプラザ自主事業において、ボランティア活動を行いました。
- ・よこはまシニアボランティアポイントの登録研修会を年2回開催し、65歳以上の地域の方のボランティア活動の支援を行いました。
- ・ジュニアボランティアへの福祉教育や活動の場の提供を行いました。
- ・旭区ボランティアセンターと連携をし、ボランティア希望者への活動のコーディネートを行いました。

・ケアプラザで活動しているボランティアの活動場所の支援として、関係機関と連携して、活動の場を広げる支援を行いました。今年度は2名の男性ボランティアが地域活動ホームサポートセンター連でボランティア活動を行いました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

・自治会や各種福祉保健活動団体の定期会合や行事に積極的に足を運び、情報収集を行い地域の状況把握や課題把握に努め、5職種で情報の共有を図り、必要に応じて支援チーム会議等に情報提供を行いました。

・地域における福祉保健活動団体や社会資源を把握し、必要に応じて情報提供を行いました。

・自治会や各種福祉保健活動団体の定期会合や行事に積極的に足を運びケアプラザの設置目的や機能、ケアプラザでの事業などの周知活動に努めました。

・地域課題解決に繋がるよう必要に応じて情報提供を行いました。

・施設利用団体の活動紹介を掲示し広く情報提供を行いました。また登録団体説明会や年末大掃除会の中で、利用団体の交流会を行い、情報交換や交流の場を設けました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

・昨年度、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、地域に向けて行った3回の勉強会后、3月に発足した「きぼうタウンプロジェクト」で、地域の方とともに認知症の方や家族に対し、地域で何ができるかを月1回のペースで話し合いました。第一弾の取り組みとして9月にエリア内に2か所の認知症カフェの立ち上げを目指し、メンバーとともに勉強会や市開催の認知症カフェ交流会への参加、目指す「認知症カフェ」のモデルとなる地域に出向き視察をするなど、プロジェクトメンバーがイメージして運営できるよう様々な取り組みを行いました。「きっさプルメリア」は介護事業所、「みなとの茶店」はコミュニティカフェがそれぞれ地域貢献として場所を提供し、プロジェクトメンバーとして運営に携わってくれています。ともに9月から（きっさプルメリアは8月にプレオープン）月1回のカフェの開設を行っており、2か月に1回「きぼうタウンプロジェクト」のミーティングを重ね、認知症の方とその家族の居場所や活躍の場、早期発見のきっかけの場、認知症を学ぶ場となれるようカフェの運営を支援してきました。また、カフェ運営の取り組みから今後は第2弾の取り組みとして地域で何ができるかをメンバーの方達とともに考えていきます。

・地域の方たちがいつまでも生きがいを持ち、社会参加できる活動として、1つは「ミュージックボランティア講座」を4月、5月に3回コースで開催し、その後、地域で活動する団体の活動支援や外出が困難な方のお宅に訪問し、一緒に歌を歌うなどを行う個別支援を目的としたボランティア団体「音楽る」を5月に立ち上げました。また、「スクエアステップリーダー講座」を3月から5月に5コースで開催し、その後介護予防推進の担い手となるよう「ステップ1.2希望の風」のボランティア団体を6月に立ち上げました。

・4月と6月に高齢者の活動の場である老人会や元気づくりステーションなどの会継続の危機や担い手不足などの課題解決と相互の交流を目的として「老人会・元気づくりステーション連絡会」を開催しました。

・「みんなの集いの場（仮）」は集いの場が比較的少ない希望ヶ丘中地区に、めぐみ幼児園の地下集会所をお借りして、運動が苦手な人も、運動したい人も、お茶だけ飲んでおしゃべりしたい人も、誰もが気軽に集える場所として2月より月2回自主事業として立ち上げました。運動の部分ではスクエアステップリーダーの「ステップ1・2希望の風」、お茶のみの部分は善部西地区で活躍している「カフェ絆」のコーヒーボランティアが担い手となり、運営してきました。ゆくゆくは地域の活動となれるよう支援していきます。

・昨年度に引き続き、地域包括支援センターと連携してミニディサービスを開催し、地域の高齢者の動向の把握に努めました。また、シニアサポーターひまわりの活動支援や元気づくりステーション、老人会の介護予防活動を引き続き支援し、地域での介護予防が充実するよう努めました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・集いの場が比較的少ない希望ヶ丘中地区、おしゃべりはしたいけど運動は苦手、自治会館だと他の自治会の人はいきにくいなどのニーズをふまえ、公共の場であるめぐみ幼稚園の地下集会所をお借りして、誰もが気軽に集える場所を開設しました。

・希望ヶ丘南地区の駅から遠い地域で、比較的買い物が困難な地域の3つの老人会（善部自治会、善部西自治会、南希望ヶ丘自治会）から買い物事情のアンケートをとり、現状の把握に努めました。他のエリアで利用している移動販売業者を視察し、業者と打合せを行いました。両地区ともに坂のアップダウンが激しい地域なので、できれば坂の上で行いたい荷物をひろげられる広いスペースも少なく、買い物後に配達してくれる人などのマッチングも検討していきます。

・地域の知りえる活動を把握し、地域活動・サービスデータベースシステムに情報を記載しました。情報を閲覧できるようになれば、インフォーマルサービス検索として利用してもらうよう、ケアマネジャーなどへ案内をしていきます。

・旭区社協と共催して旭区全域の宅配スーパー一覧を作成するため、地域のスーパーの宅配サービス状況を把握しました。高齢者やケアマネジャーに配布していきます。

・地域で活躍する各分野のボランティア団体のチラシを作成し、ケアプラザ新聞などにも掲載し、高齢者の活動の場や子供会、地域の介護事業所などに配布し、地域資源として活用してもらうよう努めました。

## (3) 連携・協議の場

・教会のめぐみ幼稚園を借りて行っている「みんなの集いの場(仮)」について、希望ヶ丘地区連合、富士見自治会、希望ヶ丘自治会、民生委員、めぐみ幼稚園、スクエアステップボランティア、コーヒーボランティア、介護事業所、旭区社協、ケアプラザで協議体を開催し、集いの場の理解と内容の共有を図りました。めぐみ幼稚園のすぐ近くの介護事業所は地域貢献として集いの場への今後の外出支援を検討してくれています。地域活動交流、地域包括支援センターと連携して運営を支援していきます。

・ミュージックボランティア「音楽る」は発足後、月1～2回集まり、会の規約や活動内容の確認、活動後の報告などについて話し合いを行いました。10月より「きぼうタウンプロジェクト」メンバーからの依頼により2か所の認知症カフェでの活動が開始しました。また、ケアプラザの自主事業や老人会や地域のデイサービスからの依頼など、活動範囲も広がってきています。メンバーの人数も増え現在は16名で活動をしています。2月には個別支援に向けた音楽療法士による勉強会も開催しました。また、スクエアステップリーダー「ステップ1,2 希望の風」は発足後月1回程度集まり、活動についての話し合いや、元気づくりステーションでの活動支援、他エリアでの勉強会、老人会での体験会など行いました。両ボランティア団体ともメンバーが自主的に意欲的に活動できるよう、支援を行いました。

・第一支部老人会と連携して友愛研修会で「きぼうタウンプロジェクト」についての勉強会を行いました。老人会が開催する看護学生との交流会でのケアプラザの役割の説明や、音楽るとのマッチングを行いました。

・「きぼうタウンプロジェクト」の中で、地域で何ができるかを考え、関係者間で共有しながら、課題解決に向けた話し合いを連携して行いました。

・希望ヶ丘地区、希望ヶ丘南地区の支えあい連絡会では、地区支援チームのメンバーとして区や区社協と連携し、ケアプラザで把握している地域課題や地区での取り組みについて積極的に情報提供を行い、第3期地域福祉保健計画の地区別計画推進に向けて協働して取り組みました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・旭区あさがお協力隊の勉強会を他の2ケアプラザと連携して行い、ケアプラザの役割や認知症カフェについての話をし、地域課題についてお互いの情報交換を行いました。
- ・旭区社協と旭区内ケアプラザで協働して、区内で活動するサロンの担い手に声をかけ、1月にサロン連絡会を企画、開催し、情報交換や運営の後方支援を行いました。

### 4 地域包括支援センター運営事業

#### (1) 総合相談支援業務

##### ① 地域におけるネットワークの構築

- ・相談に関することを総合的に受け止め、相談内容を理解し、的確に把握しました。
- ・相談内容に応じて情報を提供し、関係機関等に迅速に繋いでいきました。
- ・相談のみにとどまることなく、必要に応じタイムリーにフォローしていきました。
- ・相談者の困っていることを理解することで、速やかに支援できました。

##### ② 実態把握

- ・個別の相談から見えるニーズやデマンド、相談内容を分析することで、新しいネットワークの開拓に努め、相談地域の多い所が把握することができました。
- ・相談内容の分析から、自宅で過ごす時間が長い高齢者が多いことが分かり、閉じこもりの防止及びボランティア育成を兼ねた「ミニデイサービス（ミデイ）」を継続しました。今年度も新規メンバーが広がり、支援の輪を広げていきました。
- ・介護することへの不安、不満、悩みを解消するために「介護者の集い」をケアプラザ協力医にも毎回協力していただき、継続していきました。今年度も新規メンバーを募って介護者支援の輪を広げていきました。
- ・ケアプラザ協力医による医療相談会を毎月1回開催しました。

##### ③ 総合相談支援

- ・各種統計資料等から圏域の情報を収集していきました。
- ・相談や関係機関からの情報収集などにより、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等を把握することができました。
- ・出張講座や地域包括支援センター事業実施後にアンケート調査を実施し高齢者の個別ニーズ、圏域の実態を把握することができました。
- ・日頃からケアプラザに来所される方とのコミュニケーションを大切にしていき、挨拶だけでは終わらない時間を大切にしていきました。その方が悩んでいる事や近隣の方で困っている方の実態を把握することができました。

#### (2) 権利擁護業務

##### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・成年後見制度をはじめ、権利擁護事業や消費者保護など関連する法制度を理解することで、それに基づく相談への的確な見立てにより、区役所・区社協、司法書士等担当部署へつなぐ等適切な支援を行いました。
- ・エンディングノートや成年後見制度等の講演会を旭区社会福祉協議会や区内の社会福祉士と共催にて実施していき、未来に向けての普及啓発に取り組みました。  
特にエンディングノート講座は、当ケアプラザだけではなく、旭区地域ケアプラザ5カ所にて開催することができました。

- ・区長申立が必要な事例について、アセスメントに基づき、区役所等につなげていくことができました。
- ・親族申立支援にあたり家庭裁判所への手続きに関して、第三者後見人が必要な場合に適切なアドバイスをしていきました。
- ・旭区内地域包括支援センターと協働で街頭消費者被害防止キャンペーンを実施し、普及啓発活動に努めていきました。地域ケアプラザと伝えることで安心していただくことができました。
- ・老い支度シリーズを実施していき、終活のみならず、自分史についてや在宅や施設で暮らすために考える講座、遺言や相続についての講座や講演会を開催していきました。今回は日曜日に開催することで若年層にも参加していただくことができました。

## ② 高齢者虐待への対応

- ・虐待事例に対し、区と支援の方向性を共有し、区との役割分担に基づき対応し、適切な支援につないでいきましたが、アプローチに時間がかかってしまうことがありました。
- ・各種機関からの情報収集や啓発活動などにより、早期発見に努めていきました。
- ・「介護者の集い」を（奇数月の第2水曜日）開催し、虐待の恐れのある介護者を会への参加につなげ、協力医の参加により専門的なアドバイスもいただき、虐待防止や介護者支援に積極的に取り組んでいくことができました。参加者が安定している方と1度しか来ていない方がいたことは今後の課題です。
- ・区内版高齢者虐待対応フォロー図を今年度も改めてケアマネジャーにも周知し、いつでも閲覧できる所に置き活用していきました。内部研修においても活用することができました。
- ・旭区福祉分科会での虐待防止研修を通じて改めて虐待に対しての意識を向上していき、研修を通じて現場における研鑽に努めていくことができました。
- ・人権についての内部研修を実施しました。日頃何気なくしている言動や行動を見直し、気付いていくことを目標に実践やロールプレイングを行っていきました。参加者は研鑽することができました。
- ・総合相談においても、虐待のおそれがあるケースをすぐに気づけるように相談者の心理や言動、しぐさに気づける洞察力を高めていくことができています。
- ・3職種連携をとることで虐待事例に協働することができました。

## ③ 認知症

- ・地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」と「認知症について考える2017」を実施しました。また、小学生を対象に夏休みを利用したジュニアボランティア講座にて認知症についての普及啓発を行いました。
- ・「認知症をみんなで支えるまちづくり検討会」において、関係機関のみならず、地域とのネットワークづくりにむけた連携を図っていくことができました。
- ・旭区のSOSネットワークシステムを紹介していき、登録手続きをサポートし、地域包括支援センターエリア内での徘徊高齢者検索のネットワーク構築に努めました。
- ・生活支援コーディネーターと地域包括支援センターが協力して「認知症カフェ」を南希望が丘、中希望が丘にて開催できるように後方支援していきました。今後も毎回地域包括支援センターのアドバイザーとして参加していきます。



### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・インフォーマルサービス等の情報収集の更新、整理に努め、地域住民に対し情報提供を行いました。
- ・生活支援コーディネーターと連携して「認知症になっても安心して暮らせるまち(きぼうタウン)をめざして」プロジェクトで立ち上がった認知症カフェ2か所の支援(「みなとの茶店」「きっさプルメリア」)を行いました。地域住民、関係機関等と連携を行い認知症カフェに毎回参加しました。
- ・地区の民生委員や見守りの会等の会に参加し、地域での見守りネットワーク事業に積極的に関わっていきました。
- ・ひとり暮らし高齢者見守り事業について地区の民生委員、区役所と協働し、実態把握に努めました。

#### ② 医療・介護の連携推進支援

- ・ケアマネジャーと医療機関等とのネットワーク構築のための取組み、情報交換会等を行いました。
- ・ブロック毎のケアマネジャー事業所連絡会にて、エリア内の医師等を招きケアマネジャーとの連携を目的にネットワーク構築のための取組みを行いました。
- ・エリア内の医療機関を個別に訪問し、顔の見える関係を構築していきました。
- ・医師、地域包括支援センターとの連絡票などを活用して、近隣医師との連携に努めました。また、エリア内の医師との連絡会「南希望が丘地域医療連絡会」を開催継続していきました。
- ・毎月、ケアプラザの広報誌を持参し、医療機関、薬局等を訪問し連携を図っていきました。
- ・施設協力医には「介護者の集い」に参加してもらい、適宜話し合いをもち連携に努めていきました。

#### ③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーへの以下の支援体制を構築していきました。
- ① 相談への支援
  - ② 事例検討など研修会等の開催
  - ③ 新任、就労予定ケアマネジャーに対する研修年2回の実施
  - ④ サービス担当者会議の開催支援及びスーパーバイズ
  - ⑤ 支援困難事例、緊急対応時等の支援
  - ⑥ 区ケアマネジャー連絡会「旭ケアマネット」への支援
- ・毎月、地域包括支援センターとケアマネジャーとのケースカンファレンス等を開催しました。
  - ・地域包括支援センターエリア内の連絡会、研修会、交流会を年7回、ケアマネジャー同士の交流会、配食サービス試食会、近隣デイサービス見学会、社会福祉士による対人援助技術講座、最新福祉機器事情、民生委員2地区毎の交流会を実施しました。
  - ・3地域包括支援センター(南希望が丘、今宿、万騎が原)共催で年4回、医師を招き高齢者の心疾患について、精神疾患を抱えた当事者・家族への対応、生活支援コーディネーターとの意見交換、事例検討会を行い、連携を図っていきました。
  - ・旭区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーと区役所と共催で年2回、新任・就労予定ケアマネジャー研修を開催、施設見学や個別実習の受け入れ等を行いました。
  - ・適宜ケアマネジャー相談支援、支援困難事例の相談支援、カンファレンスの開催等を行いました。
  - ・エリア内の民生委員とケアマネジャーとの交流会を2地区毎に実施し、双方の関係づくりの支援を行いました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・地域の関係機関などと相互の連携を高め、ネットワークを構築していけるよう、地域住民、民生委員、地域の医師、医療・介護関係者など、多職種と協働し、事例を通して個別ケースの支援内容を多角的に検討し課題解決を支援していけるよう、個別ケース地域ケア会議を年4回（認知症の母と独身息子の事例、認知症と精神疾患を抱えた高齢姉妹の事例、認知症の母と認知症疑いの独身息子の事例等）開催しました。

・また、個別ケース地域ケア会議で抽出された課題や地域アセスメントからの地域課題などを関係者間で共有し検討する、包括圏域地域ケア会議を年3回（希望が丘中地区、希望が丘南地区の民生委員とケアマネジャーとの情報意見交換、南希望が丘地域医療連絡会にて医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネ、サービス事業者等との多職種連携をテーマにした意見交換）開催しました。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

##### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

・要支援者の主体性、意欲を引き出していけるよう、目的指向型の介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを行いました。

・委託を行う場合はケアマネジャーとの連携、適切なケアマネジメント支援に対する関わりを積極的に行いました。

・旭区介護予防従事者研修会において、介護予防・介護予防ケアマネジメント伝達研修を区内担当地域包括支援センター、区役所と協働して実施しました。

#### (6) 一般介護予防事業

##### 一般介護予防事業

平成29年度介護予防教室は、ケアプラザまで足を運ぶことの難しい高齢者が多いという声に応え、ケアプラザだけではなく老人会を回りながらロコモ予防教室を全13回開催しました。老人会では体操・栄養改善・口腔機能向上のいずれかを開催することで打ち合わせを行いました。栄養改善と口腔機能向上の教室を希望されたため、毎回ハマトレ体験版を実施しハマトレの普及にも努めました。3項目の教室に参加していただいた参加者11名には、3月20日ケアプラザのハマトレ教室にて表彰しました。介護予防の意義について学んでいただくことにより、日頃の生活に活かせるとお声もいただきました。

シニアサポーターひまわりと地域の皆さんを対象にボランティアのスキルアップ及び新しいボランティア発掘を兼ねてレクリエーション習得講座を全4回シリーズで開催しました。ボランティアを行うに当たってのスキルアップだけではなく、介護予防に繋がるようにスローエアロビクスだけではなく健口体操やフレイルなどについても学んでいただきました。新しいボランティアの発掘には至りませんでした。参加者各人の介護予防の意識向上に繋がったと感じていただけたようです。

認知症予防運動・コグニサイズ入門と題して認知症予防教室を、公益財団法人かながわ健康財団健康課よりコグニサイズ指導員を招き1回開催しました。運動課題と認知課題を同時に行うことの重要性を学んでいただけたようです。

元気づくりステーション「南希の森」「ヒルズのわ」「ホープの友」3カ所の活動支援を引き続き行いました。発足から5年を迎える「南希の森」では地域リハビリテーション活動支援事業による理学療法士の派遣を受け、身体状況に差があっても一緒に体操ができるように助言をいただき、日々の活動に取り入れることができました。

5 その他

--

## 以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

### 7 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

- ・指定管理者として公の施設を適正に管理いたしました。
- ・施設利用に関して、地域ケアプラザとして適正に利用していただけるように利用者に丁寧に説明にあたりました。
- ・設備の保守管理に関して、日常的な点検を施設管理者により実施致しました。
- ・設備の一部に関しては専門の業者と保守管理契約を結び適切な管理を行いました。
- ・植栽の管理については専門の業者と保守管理契約を結び緑の維持、管理を行いました。

#### (2) 効率的な運営への取組について

- ・法人内のメールシステムを活用し、情報の伝達、帳票類の管理が正確かつ適正に行われるように致しました。
- ・労務、経理の事務処理については法人本部担当職員と連携をとり業務の効率化に努めました。
- ・光熱水費の節約に努め無駄なエネルギー費の削減に努めました。

#### (3) 苦情受付体制について

- ・ご意見ダイヤルの利用に関する情報を各階に掲示致しました。
- ・苦情解決の担当、解決責任者、対応の流れを明確にして館内に掲示致しました。
- ・第三者委員会の設置を明確にして館内に掲示致しました。
- ・利用者アンケートや、登録団体説明会などでいただいたご意見、ご要望については対応策を明確にし、ケアプラザ新聞により広く利用者や地域に方々に周知いたしました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・緊急時マニュアル、防犯マニュアルを整備し、緊急時の連絡先は事務所内に掲示致しました。
- ・機械警備により 24 時間防犯体制をとりました。緊急発報はありませんでした。開館、閉館の時間の記録を残しました。
- ・機械警備のセキュリティキーは管理台帳で管理者を明確にし管理致しました。
- ・日常の館内点検を実施し記録に残しました。
- ・来館される方に挨拶、お声掛けを行い館内の様子を把握するよう努めました。
- ・朝礼時に館の一日の使用予定を職員間で共有しました。

#### (5) 事故防止への取組について

- ・日常設備点検、車両点検を実施し整備不良による事故を防ぐように努めました。結果、整備不良による事故は発生していません。
- ・事故、並びにリスクの高いと思われる事柄については法人内リスクマネジメント委員会にて情報を共有し、職員に周知いたしました。
- ・労働安全衛生、健康管理（メンタルヘルス含む）への啓発に努め事故防止に努めました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 内部研修にて個人情報保護の研修をいたしました。
- ・ 個人情報取扱業務一覧に基づき、適切に個人情報を取り扱いました。
- ・ 介護予防支援事業、居宅介護支援事業、通所介護事業の利用契約時には個人情報の使用に関して説明し同意を得てサービスを開始致しました。

#### (7) 情報公開への取組について

- ・ 法人の事業計画書、事業報告書、予算書、決算書を窓口に設置致しました。
- ・ 毎月の広報誌、掲示板を利用し新たな事業情報を公開致しました。また、横浜市からの掲示依頼物は速やかに館内掲示板に掲示致しました。
- ・ 29年度市民からの情報公開請求についてはございませんでした。
- ・ 29年度介護予防支援事業、通所介護事業、居宅介護支援事業の利用に関する記録の開示請求はございませんでした。

#### (8) 人権啓発への取組について

- ・ ケアプラザ職員対象に「人権擁護」のテーマで内部研修を実施いたしました。
- ・ 地域の住民の方を対象に「消費者被害」「虐待」「障害」各テーマごとに講座を開催いたしました。

#### (9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ ごみの処分に関してはヨコハマ3R夢活動を推進し、マニフェストに沿ってゴミの処分を実施いたしました。
- ・ 古紙の処分はリサイクルに出し資源の再生に努めました。
- ・ スマートクロックを使用することにより消費電力の可視化をし無駄な電力の削減に努めました。

## 【介護保険事業】

### ●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

管理者 保健師等 1名（常勤兼務）  
主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務）  
社会福祉士 1名（常勤兼務）

#### 《目標に対する成果等》

要支援1・2と認定された地域の高齢者に対し、介護予防ケアプランを作成しました。作成にあたっては、サービス利用後の生活がイメージできるよう、明確な目標設定を行うことにより行動意欲を高め、本人の主体性を尊重したケアプランの作成を行いました。

また、委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携及び支援を行いました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費（実費）を徴収します。平成29年度はありませんでした。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護予防支援対象者へのスムーズな介護予防プランの提案・サービス提供が行えるように支援体制を強化しました。また、介護予防サービスが円滑に提供できるよう、事業所訪問などにより、介護予防事業者やインフォーマル活動団体との関係づくりを行いました。

#### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
169	177	183	184	184	180
10月	11月	12月	1月	2月	3月
181	181	181	176	180	180

## ●居宅介護支援事業

### 《職員体制》

●管理者 1名（常勤兼務）

●介護支援専門員

4名 平成29年 4月～平成29年10月（常勤兼務1名、常勤専従3名）

5名 平成29年11月～平成30年 3月（常勤兼務1名、常勤専従4名）

### 《目標に対する成果等》

・平成29年度新規契約 67件

・新規利用者67名のうち62%が同包括エリアでのご利用者様となっております。ケアプラザ併設の居宅介護支援事業所としての強みを生かし、地域包括支援センターとの連携を通じたケアマネジメントを通し、地域支援を行うことができました。また、ケアプラザ祭りやきぼうタウンプロジェクト等への参加を通し地域に対する取り組みにも参加することができました。

### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

・通常のサービス地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合の交通費を徴収します。平成29年度はありませんでした。

### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・毎朝のミーティングと共に、月1回のケースカンファレンスを行い、ケアマネジャー間での情報共有を行いました。
- ・地域包括支援センターとの毎月のカンファレンスを行い、支援困難事例の状況報告や対応策を検討しました。
- ・ケアマネジャー間で定期的にケースチェックを行い、帳票類の不備がないかを確認しました。また、定期的に課題整理総括表をケアマネジャー間で確認し合い、課題抽出やアセスメント能力の向上に努めました。
- ・個人情報保護マニュアルを更新し個人情報漏洩防止に努めました。
- ・ケアマネジャー連絡会・研修会・勉強会に積極的に参加し、職員の専門性の向上に努めました。

### 《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防25件 介護154件	予防26件 介護143件	予防27件 介護154件	予防28件 介護141件	予防32件 介護137件	予防29件 介護140件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防31件 介護148件	予防31件 介護145件	予防34件 介護150件	予防35件 介護148件	予防37件 介護148件	予防35件 介護147件

● 通所介護・認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要介護1） 円
  - （要介護2） 円
  - （要介護3） 円
  - （要介護4） 円
  - （要介護5） 円
- 食費負担 円

- 
- 

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月



● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護（対象外）

《提供するサービス内容》

- 
- 
- 

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分  
（事業対象者） 円
- （要支援1） 円
- （要支援2） 円
- 食費負担 円

- 
- 

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成29年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,217,725	△ 345,370	17,872,355	17,872,355	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	511,210	△ 511,210	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	56,710	△ 56,710	
印刷代	0		0	44,610	△ 44,610	
自動販売機手数料	0		0	9,600	△ 9,600	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	2,500	△ 2,500	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,217,725	△ 345,370	17,872,355	18,440,275	△ 567,920	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,419,000	0	9,469,000	10,986,694	△ 1,517,694	
本俸	7,469,000		7,469,000	8,196,652	△ 727,652	
社会保険料	600,000		600,000	764,894	△ 164,894	
手当計	1,300,000		1,300,000	1,928,277	△ 628,277	
健康診断費	0		0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	20,000		20,000	20,268	△ 268	
その他	80,000		80,000	76,603	3,397	
事務費	3,008,572	0	3,008,572	2,417,407	591,165	
旅費	30,000		30,000	25,807	4,193	
消耗品費	200,000		200,000	194,239	5,761	
会議購入費	0		0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	52,666	7,334	
通信費	600,000		600,000	545,028	54,972	
使用料及び賃借料	0	0	0	19,146	△ 19,146	
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	
その他	0		0	9,546	△ 9,546	
備品購入費	800,000		800,000	561,683	238,317	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	20,520	9,480	
職員等研修費	20,000		20,000	69,071	△ 49,071	
振込手数料	10,000		10,000	648	9,352	
リース料	30,000		30,000	31,752	△ 1,752	
手数料	10,000		10,000	540	9,460	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	1,218,572		1,218,572	896,307	322,265	
事業費	913,200	0	913,200	724,191	189,009	
運営協議会経費	42,000		42,000	39,612	2,388	予算:指定額
指定管理料充当 事業	871,200		871,200	684,579	186,621	
管理費	4,123,433	0	4,123,433	2,994,499	1,128,934	
建築物・建築設備点検	228,404		228,404	51,192	177,212	予算:指定額
光熱水費	1,666,029	0	1,666,029	1,858,981	△ 192,952	
電気料金	1,357,115		1,357,115	1,575,642	△ 218,527	
ガス料金	45,258		45,258	41,511	3,747	
水道料金	263,656		263,656	241,828	21,828	
清掃費	700,000		700,000	229,265	470,735	
修繕費	474,000	0	474,000	305,842	168,158	予算:指定額
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	1,055,000	0	1,055,000	354,382	700,618	
空調衛生設備保守	65,000		65,000	22,116	42,884	
消防設備保守	200,000		200,000	71,798	128,202	
電気設備保守	500,000		500,000	161,256	338,744	
害虫駆除清掃保守	90,000		90,000	29,180	60,820	
駐車場設備保全費	200,000		200,000	70,032	129,968	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	194,837	△ 194,837	
公租公課	753,520	0	753,520	878,935	△ 125,415	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	753,520		753,520	878,935	△ 125,415	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	18,217,725	0	18,267,725	18,001,726	265,999	
差引	0	△ 345,370	△ 395,370	438,549	△ 833,919	

自主事業費収入	871,200		871,200	511,210	359,990	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	871,200		871,200	684,579	186,621	
自主事業収支	0	0	0	△ 173,369	173,369	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	9,600	△ 9,600	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	79,632	△ 79,632	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	△ 70,032	70,032	

**平成29年度「横浜市南希望が丘地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,237,802	△ 427,784	22,810,018	22,810,018	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	147,100		147,100	147,100	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,718,440	4,070,560	4,070,560	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	32,400	△ 32,400	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	67,300	△ 67,300	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	17,840	△ 17,840	
印刷代	0		0	8,240	△ 8,240	
自動販売機手数料	0		0	9,600	△ 9,600	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,156,000		1,156,000	1,156,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>30,329,902</b>	<b>△ 2,146,224</b>	<b>28,183,678</b>	<b>28,301,218</b>	<b>△ 117,540</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,821,000	0	26,821,000	25,305,085	1,515,915	
本俸	18,921,000		18,921,000	14,545,107	4,375,893	
社会保険料	3,500,000		3,500,000	3,423,403	76,597	
手当計	4,000,000		4,000,000	6,527,449	△ 2,527,449	
健康診断費			0	8,159	△ 8,159	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000	544,052	△ 344,052	
その他	200,000		200,000	256,915	△ 56,915	
事務費	1,234,286	0	1,234,286	1,644,246	△ 409,960	
旅費	20,000		20,000	11,620	8,380	
消耗品費	50,000		50,000	35,574	14,426	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	40,000		40,000	48,057	△ 8,057	
通信費	100,000		100,000	56,939	43,061	
使用料及び賃借料	0	0	0	12,137	△ 12,137	
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	
その他	0		0	2,537	△ 2,537	
備品購入費	100,000		100,000	92,880	7,120	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	50,000		50,000	37,776	12,224	
振込手数料	10,000		10,000	7,776	2,224	
リース料	30,000		30,000	31,752	△ 1,752	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	834,286		834,286	1,309,735	△ 475,449	
事業費	1,178,672	0	1,178,672	889,224	289,448	
協力医	630,000		630,000	294,000	336,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	92,572		92,572	72,031	20,541	
指定管理料充当事業(介護予防)	147,100		147,100	148,170	△ 1,070	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	375,023	△ 66,023	予算:指定額
管理費	1,095,944	0	1,035,258	795,990	239,268	
建築物・建築設備点検	60,686		60,686	13,608	47,078	予算:指定額
光熱水費	636,780	0	636,780	494,159	142,621	
電気料金	518,709		518,709	418,842	99,867	
ガス料金	0		0	11,034	△ 11,034	
水道料金	118,071		118,071	64,283	53,788	
清掃費	60,000		60,000	60,940	△ 940	
修繕費	126,000		126,000	81,294	44,706	予算:指定額
機械警備費			0	0	0	
設備保全費	100,000	0	100,000	94,197	5,803	
空調衛生設備保守	10,000		10,000	5,878	4,122	
消防設備保守	20,000		20,000	19,084	916	
電気設備保守	40,000		40,000	42,864	△ 2,864	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	7,756	2,244	
駐車場設備保全費	20,000		20,000	18,615	1,385	
その他保全費			0	0	0	
共益費			0	0	0	
その他	51,792		51,792	51,792	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>30,329,902</b>	<b>0</b>	<b>30,269,216</b>	<b>28,634,545</b>	<b>1,634,671</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,146,224</b>	<b>△ 2,085,538</b>	<b>△ 333,327</b>	<b>△ 1,752,211</b>	

自主事業費収入	548,672			99,700		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	548,672			595,224		
自主事業収支	0			△ 495,524		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			9,600		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			28,215		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 18,615		

## 平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	4215022	23887261
その他	147		1305828	5427307	129348
介護予防ケアマネジメント 費			791054		
事業・負担金収入					
その他	147		514774	5427307	129348
<b>収入合計(A)</b>		4215169	25193089	127791751	4081996
支出	人件費		20277783	87717295	2833467
	事務費	138735	1124876	6853060	221429
	事業費		154206	16432603	530810
	管理費				
	その他	3156000	2000000	8875765	286709
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料				
	その他	3156000	2000000	8875765	286709
<b>支出合計(B)</b>		3294735	23556865	119878723	3872415
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>920434</b>	<b>1636224</b>	<b>7913028</b>	<b>209581</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

資料4-1

**施設名 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護予防でスタンラリー	高齢者	105,868	地活	105,868	0	0	87,000	13,968	4,900
	273人		包括						
	0円		生活						
Dandy Kitchen ～ふれあい子ども食堂～	主に小学生	139,186	地活	72,186	67,000	0	2,000	115,972	21,214
	595人		包括						
	100円		生活						
歌声喫茶	地域住民	111,879	地活	579	111,300	0	93,540	621	17,718
	1059人		包括						
	100円		生活						
ふらっとサロン	地域住民	99,355	地活	3,995	95,360	0	0	91,906	7,449
	594人		包括						
	200円程度		生活						
ゆったり体操教室	高齢者	147,072	地活	42,272	104,800	0	133,632	0	13,440
	347人		包括						
	400円		生活						
子育てサロンmam-mam	0歳児～未就園児	18,428	地活	9,128	9,300	0	2,000	0	16,428
	112組308人		包括						
	100円		生活						
男性のお菓子教室 ダンディパティシエ	地域の男性	36,024	地活	24	36,000	0	12,000	14,961	9,063
	52人		包括						
	600円		生活						
登録団体説明会	登録団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	61人		包括						
	無料		生活						
ボランティアの集い	ボランティア	4,896	地活	4,896	0	0	0	0	4,896
	33人		包括						
	無料		生活						
年末みんなで大掃除会	登録団体	1,380	地活	1,380	0	0	0	540	840
	43人		包括						
	無料		生活						
ケアプラザ祭り	地域住民	126,359	地活	38,909	87,450	0	6,079	117,480	2,800
	614人		包括						
	200円程度		生活						
よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	65歳以上	0	地活	0	0	0	0	0	0
	28人		包括						
	無料		生活						
大掃除会(調理室)	登録団体	0	地活	0	0	0	0	0	0
	6人		包括						
	無料		生活						
希望が丘南地区ジュニア ボランティア養成講座	ジュニアボランティア	0	地活	0	0	0	0	0	0
	22人		包括						
	無料		生活						
きぼうファーム	障がい児者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	410人		包括						
	300円(CP収入は無)		生活						
合同歌声喫茶2017	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	463人		包括						
	500円		生活						

# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 施設名 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
旭区自立支援協議会 あっぱれフェスタ	障がい者・地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1300人		包括						
	無料		生活						
旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー 出展事業	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	282人		包括						
	無料		生活						
地域精神保健福祉講座	支援者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	39人		包括						
	無料		生活						
旭区自立支援協議会 第10回旭区生活支援 フォーラム	障がい児者・地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	144人		包括						
	無料		生活						
旭区自立支援協議会 わっくる ポッチャ大会	障がい者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	65人		包括						
	300円		生活						
レクリエーション習得講 座「スローエアロビクス」	高齢者	43,058	地活						
	75人		包括	43,058	0	0	30,000	9,698	3,360
	無料		生活						
シニアサポーターひまわり	高齢者	0	地活						
	109人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
みな元気旭！ひよどりサ ロン 活動支援	高齢者	0	地活						
	50人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
第一支部老人会友愛活 動支援	高齢者	0	地活						
	60人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
認知症予防運動 コグニ サイズ入門	高齢者	633	地活						
	20人		包括	633	0	0	0	73	560
	無料		生活						
ミ・デイ	高齢者	51,146	地活						
	246人		包括	13,724	32,400	0	2,000	41,884	2,240
	200円(ボラ100円)		生活	5,022	0	0	0	5,022	0
介護者の集い	地域住民	0	地活						
	49人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活						
古い支度シリーズ 「自分史講座」	地域住民	5,000	地活						
	7人		包括	5,000	0	0	5,000	0	0
	無料		生活						
古い支度シリーズ 「エンディングノート講 座」	地域住民	6,000	地活						
	34人		包括	6,000	0	0	6,000	0	0
	無料		生活						
きぼうタウンプロジェクト	地域住民	5,015	地活						
	188人		包括						
	無料		生活	5,015	0	0	0	3,769	1,246
スクエアステップ リーダー講座	地域住民	91,572	地活						
	94人		包括						
	2000円		生活	44,972	46,600	0	32,400	48,324	10,848
ステップ1・2希望の風	地域住民	1,759	地活						
	138人		包括						
	無料		生活	1,759		0	0	1,199	560

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ミュージックボランティア講座	地域住民	17,404	地活	17,404	0	0	16,704	0	700
	63人		包括						
	無料		生活						
ミュージックボランティア音楽	地域住民	58,446	地活	58,446	0	0	12,000	46,446	0
	323人		包括						
	無料		生活						
聴いて、歌って、ドレミで10才若返り	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	40人		包括						
	無料		生活						
老人会・元気づくりステーション連絡会	地域住民	2,003	地活	2,003	0	0	0	2,003	0
	55人		包括						
	無料		生活						
認知症&予防カフェみなとの茶店支援	地域住民	2,400	地活	2,400	0	0	0	0	2,400
	119人		包括						
	300円(CP収入は無)		生活						
認知症&予防カフェきつきブルメリア支援	地域住民	1,200	地活	1,200	0	0	0	0	1,200
	172人		包括						
	200円(CP収入は無)		生活						
中希望が丘みんなの集いの場(仮)	地域住民	40,833	地活	19,533	21,300	0	0	34,593	6240
	126人		包括						
	200円(ボラ100円)		生活						
元気づくりステーション南希の森支援	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	603人		包括						
	200円(CP収入は無)		生活						
元気づくりステーションヒルズのわ支援	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	535人		包括						
	1000円(2か月)(CP収入は無)		生活						
元気づくりステーションホープの友支援	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	571人		包括						
	1000円(2か月)(CP収入は無)		生活						
老人会・長寿会活動支援	長寿会会員	0	地活	0	0	0	0	0	0
	30人		包括						
	無料		生活						
旭区サロン連絡会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	60人		包括						
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

資料4-1

## 横浜市南希望が丘地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
Dandy Kitchen ふれあい子ども 食堂	主に小学生を対象に、子どもの居場所支援と孤食支援、地域の大人との顔の見える関係づくりを目的に開催しました。またボランティア活動の支援を行いました。16時から17時30分までは、フリータイムとし、地域のボランティアによる学習支援や、学校や年齢を超えた子どもたちの交流の支援を行いました。17時30分より食事の提供を行いました。長期休暇時には9時から17時まで開催し、居場所支援と食事支援、学習支援を行いました。夏休みは資源循環局旭事務所の協力でエコ草履教室を開催し自由研究などの宿題のお手伝いをし、冬休みは書初め教室を開催しました。	奇数月 第2木曜日 16時～ 18時30分 長期休暇時 7月27日 8月10日 12月26日 9時～17時 年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声喫茶	地域住民（主に中高年）を対象に、歌を歌うことでの健康増進を目的として開催しました。参加者に事業の準備や片づけを呼びかけ、参加者皆で会を運営していけるよう事業を進めました。	第1土曜日 10時～12時 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとサロン	地域住民の交流の場の提供と、ボランティア活動の場を提供する目的で開催しました。障害のある方や小さいお子さん連れの方にも気軽にご参加いただけるよう、ケアプラザ新聞やチラシ等で開催日の周知を行いました。第2日曜日は、午前中に男性のお菓子教室を開催し、参加者にお菓子作りとサロンでのボランティア活動をしていただきました。第4日曜日は引き続き、午前中に開催しているマーガレットケーキ教室にお菓子の提供とサロンでのボランティア活動をお願いしました。	第2第4日曜日 13時～ 15時30分 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったり体操教室	既存の体操教室に参加が難しい高齢者を対象に介護予防を目的とした体操教室を開催しました。イスに座って、セラバンドやゴムボールを使用した体操を60分、カードや輪投げなどのレクリエーションやゲームを30分行いました。	第2第4水曜日 10時～ 11時30分 年24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサロン mam-mam	0歳児から未就園児の親子を対象に親子交流サロンを開催しました。前半はフリースペースとして、後半はママのヨガ教室を開催しました。プール遊びやクリスマス会など季節に応じたイベントを行いました。また地域の子育て経験者にボランティアを呼びかけ、活動の場の提供を行いました。2月は旭消防署と共催で乳幼児救急救命教室を開催しました。	第1木曜日 10時～ 11時30分 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のお菓子 教室 ダンディ パティシエ	地域の男性を対象に季節のお菓子作りを行いました。ふらっとサロンの前に開催し、サロンのお菓子の製作の他、サロン運営のボランティア活動も行いました。3月に自主活動化し、次年度からは登録団体での活動になります。	偶数月 第2日曜日 年6回



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	ケアプラザを利用されている団体向けに、貸室の申込みや利用方法、緊急時避難経路について説明を行いました。また会の最後には、日ごろ利用されている皆さんからご意見を伺う時間を設けました。	3月26日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアの集い	ケアプラザで活動をされているボランティアを対象に、ボランティア同士の交流の場の提供と、情報交換や意見交換を行いました。またデイサービスや生活支援コーディネーター、地域包括支援センターの職員にも参加してもらい、ボランティアとの交流を図りました。	3月29日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
年末みんなで大掃除会	2階交流スペースを利用されている団体に案内をして、福祉保健活動の一環として使用している部屋の清掃をしていただきました。また清掃終了後に意見交換会を行い、利用についての意見交換が出来る場を作りました。	12月28日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ祭り	日ごろの感謝の気持ちを込めて、地域住民との交流の場として開催しました。子ども向けのコーナー、飲食販売コーナー、障害事業所の販売コーナー、ステージ発表等を設けました。ボランティア活動の場の提供も行いました。	10月28日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	65歳以上の方を対象に、よこはまボランティアポイントの登録研修会を実施しました。ケアプラザ自主事業でボランティア活動を始め方のほか、地域の一般の方にもケアプラザ新聞を通じて周知を行い、ボランティア活動や地域活動の参加のきっかけづくりを行いました。	6月5日 2月26日 年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大掃除会(調理室)	日頃より調理室を利用している登録団体を対象に、福祉保健活動の一環として行いました。また終了後、ケアプラザに対してのご意見を伺いました。	7月2日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
希望が丘南地区ジュニアボランティア養成講座	希望が丘南地区のジュニアボランティアを対象に、福祉についての理解を深めてもらい、ボランティア活動につなげる目的で実施しました。障害者についてをサポートセンター連の職員の方から、高齢者についてを地域包括支援センターの社会福祉士から話をし、その後グループに分かれて、車イス体験と疑似体験を行いました。	8月4日 年1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぼうファーム	希望が丘地区・希望が丘南地区支えあい連絡会、第3期地域福祉保健計画の取り組みの一環として実施しました。『きぼうファーム』を通じて、障害児者やご家族と交流を図り、顔の見える関係づくりや相互理解を深めることを目的として開催しました。障害児者余暇支援事業、保護者交流会、障害理解・啓発事業を開催し、地域主体で活動していけるよう後方支援を行いました。	4月15日 5月13日 6月18日 8月19日 11月18日 11月25日 1月20日 3月10日 年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
合同歌声喫茶	歌好きな方々が集まって仲間作りや健康作りと、また外出の機会を作ることで引きこもり予防、区内全ケアプラザの周知を目的として開催しました。区内ケアプラザとボランティア団体・歌声喫茶オアシスと実行委員会形式で運営しました。	5月31日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭区自立支援協議会あつぱれフェスタ	地域住民等を対象に、旭区内の障害関係作業所・関係機関のPRを目的として、1日目と2日目はぱれっと旭で区内の障害関係作業所・関係機関の物品販売を行いました。3日目は公会堂を使用してのD-1グランプリを開催し、障害事業所のメンバーさんが出し物を披露しました。また企画イベントとして、ケアプラザで活動しているチアダンスの団体の子どもたちと障害事業所のメンバーさんによるコラボダンスを実施しました。	6月29日～ 7月1日 3日間

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭ふれあい区民まつり行政・PRコーナー出展事業	来場しているお客様に地域ケアプラザ及び地域福祉保健計画を知っていただく機会を作る目的で実施しました。地福計画の推進としてアンケートの実施と啓発物配布、ケアプラザ機能周知として、コーヒーボランティア「ペリゴール」によるサイフォンコーヒーの配布と、子育て支援プログラムの提供として射的コーナーを実施しました。	10月15日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域精神保健福祉講座	精神障害者の方から相談を受けることが多い関係施設・支援者向けに、精神の専門家による精神障害者支援の基礎知識・対応方法を学ぶ目的で実施しました。精神障害の理解と精神障害者支援について講師より、お話をいただきました。	12月18日 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
旭区自立支援協議会第10回旭区生活支援フォーラム	一般の方を含めた地域の方を対象に、障害者福祉の問題をテーマにした講演会を開催し、理解を広めることを目的として、今年度は「障害のある人の防災を考える」をテーマに開催しました。 主催：旭区自立支援協議会	12月9日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭区自立支援協議会わっくるボッチャ大会	区内作業所間の連携・交流及び成人の余暇支援のため実施しました。区内作業所間の連携・交流及び成人の余暇支援のため、「わっくる」のプログラムの一つとして実施、トーナメント形式で事業所対抗でボッチャ大会を行いました。 主催：旭区自立支援協議会	3月13日 年1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防でスタンプラリー	平成29年度介護予防教室は、ケアプラザまで足を運ぶことが難しい高齢者が多いという声に応え、老人会を回りロコモ予防教室を開催しました。老人会では体操・栄養改善・口腔機能向上のいずれかを開催するとともにハマトレ体験版を実施し普及活動を行いました。ケアプラザで開催する教室を含め3項目の教室に参加された方11名を表彰しました。	4月26日、5月21日、6月15日、7月6日、7月31日、9月19日、10月19日、10月26日、11月27日、12月5日、1月17日、2月16日、3月20日 全13回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
レクリエーション習得講座 スローエアロビクス	ボランティアのスキルアップ及び、新しいボランティアの発掘を兼ねて講座を開催しました。ボランティアを行うに当たってのスキルアップだけではなく、介護予防に繋がる運動や健口体操、フレイルについても学んでいただきました。新しいボランティアの発掘には繋がりませんでした。介護予防の意識の向上を図ることができました。	9月14日、9月28日、10月5日、10月19日 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症予防運動 コグニサイズ入門	認知症予防をめざした運動プログラム「コグニサイズ」の教室を開催しました。身体を使う運動課題と、頭を働かせる認知課題、この2つを同時に行うことで記憶力の向上、脳内記憶と学習能力を司る脳の委縮を食い止め、改善へと導く可能性をもたらす、身体と頭を同時に動かす運動を行いました。	11月16日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア育成事業 シニアサポーターひまわり	地域活動のボランティアの人員として、活動できるスキルを学んでいただくことで、自分たちの生きがいや地域の担い手となっていけるよう、地域で育てながら地域の幅広い活動を目指しました。	第3又は第2木曜日 年13回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミ・デイ	月に1回の事業に参加することにより、高齢者の方の閉じこもりを防止し、仲間づくりの場所として提供しました。また、ハンドベルや歌、工作による手作業、脳トレや体を軽く動かすミニ運動会など、介護予防の要素も盛り込んでいきました。4月にはお花見と外食を兼ね、市の緑化フェアで話題の「里山ガーデン」散策を実施しました。毎回、お茶とお菓子を楽しみながら交流を深めていきました。	第2月曜日 10時～11時半 年11回（8月除く）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者の集い	地域の介護者を対象に、施設協力医からのアドバイスも頂きながら、参加される方同士の情報交換や交流、気分転換を図る場を提供していきました。介護に役立つ情報なども提供し、日頃の介護の悩みや疲れを共有していける場となることを目指しました。	第2水曜日 14時～15時半 奇数月年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
古い支度シリーズ「自分史講座」	古い支度シリーズ第1弾として開催。自分史について学び、自分の過去にマッピング技法を用いてタイムスリップの旅に出、過去を見ることで未来の目標が見えてくる前向きな講座を実施しました。	6月に1回実施

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
古い支度シリーズ「エンディングノート講座」	地域住民を対象に、将来の自分、家族に安心した、一人ひとりの生活の質の維持・向上を目指し、豊かな生活を送るための道しるべとなる普及啓発を行いました。介護が必要になったときの介護保険の説明、成年後見制度の基礎知識、相続、死後事務委任など、終活についての内容を盛り込んだ講座を開催しました。	2月、3月に 3回シリーズ で3回実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
きぼうタウンプロジェクト	「認知症になっても安心して暮らせるまち（きぼうタウン）を目指して」で話しあってきた、認知症の方やその家族に対し地域で出来る事を実現させるため、参加者から有志を募り、プロジェクトチームを発足（29年3月）。協議体として話し合いを重ね、認知症カフェや地域への認知症についての知識の啓発、認知症の方や家族へのサポートシステムなどの立ち上げを目指し、第1弾の取組として、認知症の方や家族の方の居場所づくりや活躍の場、地域の方との交流の場、認知症について考える場、早期発見のきっかけとなるよう、協議体で話し合い、8,9月に「認知症カフェ」の開設（2か所）。カフェ開設後も2か月に1回協議体を開催。また、3月には区役所主催の認知症についての講演会で取組の発表を行いました。	4月19日、5月17日 6月14日、7月5日 7月8日、7月11日 8月9日、9月27日 11月22日、1月24日 3月24日、3月28日 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スクエアステップリーダー講座	生活支援体制整備事業の目的である「高齢者の社会参加による介護予防の推進を図れるよう地域の共助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくり」を目指し、スクエアステップを地域（老人会や自治会など）に広めることを目的とする。元気づくりステーションの会員と一般の方からリーダーを養成し、地域に広める役割を担ってもらうことで、やりがい、生きがいを感じ、自身の介護予防につなげ、リーダーの活躍の場づくりを行いました。参加者にはリーダー（ステップを広めるボランティア）としての意識を持ってもらえるような内容となるよう意識しました。	4月3日、4月17日 5月8日、5月22日 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ステップ1・2希望の風（スクエアステップ体験会含む）	スクエアステップリーダー講座参加者の中からボランティアを募り、地域で介護予防を推進する担い手の育成を行いました。様々な集いの場で活躍できるよう勉強会や他地区への視察なども行い、新たな地域支援の開発を行い、介護予防が不足している地域（主に中希望が丘）に、介護予防の啓発の場として集いの場を作っていくとともに、ボランティア自身が運営を行っていきけるよう、支援しました。また、外で気軽に活動できる体験会を1月に老人会に向け開催しました。	6月19日、7月13日 8月8日、8月23日 9月15日、 9月26日、10月3日 11月6日、1月11日 1月15日（体験会） 2月13日、2月27日 3月13日、3月27日 年14回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミュージック・ボランティア講座	地域には様々な集まりの場、サロンなどがあり、会の初めや終わりにほとんどの団体が皆で歌を歌っている。伴奏があり、声をそろえて歌うことの気持ち良さ、また、楽器を演奏することで趣味をいかしたいきがいづくりを感じてもらうため、音楽ボランティアを作るための講座を開催。音楽療法士などによる勉強会を開催しました、最終的には訪問音楽ボランティアとして、出歩けない人の支援を目指します。	4月12日、4月26日 5月17日 全3回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア 「音楽る（おとがくる）」	ミュージック・ボランティア講座参加者の中からボランティアを募り、高齢者などの地域の集まり、認知症カフェなどで活躍できるボランティア団体を発足し、地域の活動の活性化を図ります。また、入院や体の不自由などで外に出れない人への訪問音楽ボランティアとしての活動も目指しました。ミュージックボランティアとして地域への支援を具体的にみんなで考える場を設け（協議体）、話し合いを重ねながら活動を行いました。地域のサロンや認知症カフェにも参加し、地域活動の支援を行いました。	4月～3月 年39回  （「音楽療法で介護予防講座」 2月22日）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
老人会・元気づくりステーション連絡会	「高齢者の社会参加による介護予防の推進を図れるよう地域の共助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくり」を目指し、日頃より地域の方が主体となって活動している老人会や元気づくりステーションの課題（担い手不足や参加人数の減少、参加者の高齢化など）の共有や解決のヒントの場、交流の場として協議体を設置し、高齢者が集まる場の維持と活動の支援を目的としてグループワーク、交流会を行いました。	4月24日、6月27日 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
聴いて、歌って、ドレミで10才若返り	地域に向け、音楽を使用しての介護予防の取組の啓発と音楽の活動の幅を広げる為、介護予防を取り入れる。運動が苦手な人も気軽に介護予防に取り組めることを知きっかけになるよう、音楽療法士を講師に迎え講座を開催しました。	1月30日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中希望が丘 みんなの集いの場（仮）	比較的集いの場が少ない中希望が丘地区に新たな集いの場を作り、誰もが気軽に集える場所として、地域の方たち（ボランティア団体、自治会、民生委員、介護事業所等）と共に協力して運営できるよう、12月に協議体を開催し、2月より月2回集いの場を開催しました。誰もが気軽に集える公共の場（幼稚園）をお借りして、運動したい人（ステップリーダー）、お茶だけ飲みたい人（コーヒーボランティア）など参加する人が自由に選択できるよう、様々な主体が協力し、活躍できる場となるよう支援しました	第2、第4火曜日 14時～16時 2月13日、2月27日 3月13日、3月27日 年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症&予防カフェ「みなとの茶店」支援	きぼうタウンプロジェクトの取組の第一弾として希望が丘南地区に認知症&予防カフェを設立。プロジェクトメンバーでもあるコミュニティカフェを借りて、地域の認知症の方やその家族の方の居場所づくり、地域の方の認知症についての理解の推進、早期発見の場所などを目的とし、プロジェクトメンバーで運営できるよう支援を行いました。	9月6日、10月4日 11月1日、12月6日 1月10日、2月7日 3月7日 年7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症&予防カフェ「きっさブルメリア」支援	きぼうタウンプロジェクトの取組の第一弾として希望が丘地区に認知症&予防カフェを設立。プロジェクトメンバーでもある介護事業所の空スペースを借りて、地域の認知症の方やその家族の方の居場所づくり、地域の方の認知症についての理解の推進、早期発見の場所などを目的とし、プロジェクトメンバーで運営できるよう支援を行いました。	8月26日、9月16日 10月21日 11月18日 12月16日 1月20日、2月17日 3月17日 年8回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第一支部老人会・友愛活動支援	第一支部老人会の友愛活動研修会にて地域や区の認知症についての取組について啓発、周知を目的とし、後方支援として勉強会を開催しました。また老人会と看護学生との交流会では、介護予防の必要性をお話するとともに、横浜市が推奨するハマトレを実施しロコモ予防に努めました。	10月26日 11月24日 年2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
老人会・長寿会活動支援	老人会・長寿会の身体測定を行うことにより現在のご自身の健康度を意識していただき、今後の介護予防に取り組んでいただくことを目的とし、自身の状態の把握とロコモ予防体操を実施しました。	10月18日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みな元気旭ひよどりサロン活動支援	本年度、みな元気旭に認定されたひよどりサロン参加者に対してサロンとしての介護予防の取り組みの重要性をお話し、今後継続できるよう活動の支援を行いました。	7月15日、10月10日 10月26日 年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気づくりステーション支援 南希の森 ヒルズのわ ホープの友	昨年度に引き続き、地域のインフォーマルとして根付いていくよう、地域ケアプラザと区が協力体制を持って後方支援を行いました。また、参加者にはより一層自分達での運営の意識を強めていけるよう活動の支援を行いました。	南希の森 年31回 ヒルズのわ 年23回 ホープの友 年25回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
旭区サロン連絡会	旭区生活支援コーディネーター連絡会の取り組みとして、ちよこボラ連絡会、食事サービス連絡会、サロン連絡会を旭区全域の地域に向け開催。サロン連絡会は今年度より開催し、生活支援体制整備事業の周知と他地区の取り組みの情報共有、グループワークなどを旭区生活支援コーディネーターで開催しました。	1月18日 年1回